

## 第 24 期第2回地球惑星科学委員会企画分科会 議事録

日時:2017年12月8日(金)15-17時

場所:日本学術会議 6-A(1)会議室

出席者:藤井、田近、春山、木村、西山、大谷、川幡、中村(卓)(Skype)、

欠席者:高橋、中村(尚)

### 議題

1) 前回議事録を承認した。

(委員追加:情報学、環境学、地域に春山参加。Future Earth から、本委員会へ加えるかどうか?)

必要なら追加しては。安成氏が key。

アクション:12/25 日にも議論

2) 第 2 回地球惑星科学委員会議題に対する準備について

(1) 第 23 期地球惑星科学委員会の活動総括と 24 期への申し送り事項について

資料 2-2-1 を説明する。

資料 2-2-2b 地球惑星科学委員会方針(案)

とくに(5)日本の長期的研究力衰退に対する地球惑星科学委員会と JpGU の連携と対策、について

議論:

- \*他に経費がかかることが山とある中、「科学技術立国」が危うい。他の分野とも連携必要。
- \*すでに出されている提言のフォローアップで国とパブリックの説得できる議論を。
- \*現状に問題があることの指摘は大事だが、改善の方向に説得性が必要。
- \*本来は課題別委員会で包括的にすべきことだが、関連して出された提言に対するフォローアップと将来予測はできる。
- \*先手を打って問題となることを洗い出す。使われているデータの誤解を解くことは重要。
- \*効率化対応は注意が必要。
- \*課題別委員会設置を提案してはどうか。
- \*将来的に課題別として提案する時がくるだろう。そこに提案できるようにこの分野の課題をつめる。

アクション:藤井、大谷で方針案をつくる。

4) 大型研究計画及び 2018 年 5 月のユニオンセッションについて

資料 2-4-2-3b 依頼文確認。

議論：

\*夢・ロードマップ改定が最も大事。夢ロードマップ、大型研究、重点などの関係が分からないとの意見あり。

学協会をどう参加させるか単純ではない。大型代表へも。ポスターで発表。

アクション：

藤井：マップ、大型研究、MEXT 重点の関係図を作る。

川幡：夢ロードマップ説明

田近：大型研究説明

(大型予定：2018、3月プレゼン(第1回)、年末新規 or 融合計画(第2回)、その後 2019 地惑推薦)  
(藤井)ヒヤリング当選者、重点が MEXT ロードマップへ。

\* 科学者委員会はやる方向だがまだ決まっていないが、地惑ではやる。

アクション：

大型関連は地球惑星科学委員会で行う。

人材育成は2つの WG(高等教育 WG と初等中等 WG) 予定。

アクション：

JpGU に教育検討連携依頼文章を作成(藤井・木村)。

5) 分科会及び委員の追加について

アクション：

中村さんに記入依頼。春山さんのデータをもとに藤井が追加作成。国際連携分科会下の小委員会は可能。Google に企画分科会委員は直接記入を。

6) その他

アクション：

分科会から予定の提言などのアンケートを取る。

12/15 締め切りの地球惑星科学委員会資料に他の分科会の資料も盛り込む。

以上